



★つどい・しいあい・つながろう★ 市民活動センターまつり 2020

中止になりました



3月1日に予定しておりました市民活動センターまつり 2020（主催：廿日市市民活動センターまつり実行委員会）は、新型コロナウイルス感染症の拡大の恐れがある状況を受け、参加者および運営関係者の健康と安全を最優先に考慮し、やむを得ず中止としました。

半年がかりで準備をしてきただけに残念でしたが、また来年の3月7日開催に向けて、スタッフ一同がんばってまいります。

なお、センターまつり2020フォトコンテストにご応募いただきました写真は、市民活動センター2階ロビーに展示しておりますので、ご来館の際はぜひご覧ください。



まつりを楽しみにしていただいた
皆様には急な中止のご案内となり
ましたことを心よりお詫び申し上
げます。

廿日市市民活動センター運営協議会
市民活動センターまつり実行委員会
会長 後藤 香代子

記事協力 くじま歴史研究会

矢口 信二

佐伯・今昔物語

明治の名望家 八田家 その二

商家・企業家としての八田家は、玖島村の本宅敷地内に酒造用の倉庫と穀物蔵・売場を持ち、さらには醤油製造蔵も所有して、酒・醤油の醸造業を営んでいました。安政三年（一八五六）には廿日市で買得した屋敷を八田商店の出店とし「玉海堂」と称しました。

明治以降には、企業家として様々な経営を手掛けています。

その一つは銀行経営への進出です。明治三十年（一八九七）六月、八田謹二郎ほか七名が発起人となり廿日市町に佐伯貯蓄銀行を設立しました。同行は、貯蓄を目的とし、八田家の資産に基づく信用によって維持されました。三年後には八田貯蓄銀行と称号を変更し、大正七年（一九一八）まで営業しました。また、明治三十九年（一九〇六）には、謹二郎の跡を継いだ八田徳三郎が広島市内に洋雑貨品店である八田商店を設立し、洋酒・食料品類などを扱いました。

そのほか、謹二郎は佐伯郡の戸長になり地域行政の一端を担っていましたが、明治二三年（一八九〇）十一月、第一回衆議院議員選挙当選以後二期にわたり国政に携わりました。

謹二郎の跡を継いだ徳三郎は、県内外の数多くの企業で取締役や社長を務めたほか、広島税務署・広島税務監督局の委員や広島県山林会理事・大日本山林会評議員などの公職も務めました。そして明治四十四年（一九一〇）には貴族院議員に選出され、謹二郎に続いて国政に携わることになりました。

二人とも、学校・警察・道路その他の建築費等に多額の寄付を行ったり、県内外の災害救助費の寄付や厳島神社保存金の募集活動を行ったほか、山陽鉄道敷設の際には、所有地を提供するなど、名望家として、地域に貢献する動きをみせました。

お知らせコーナー

津和野街道交流 400 年事業 第9回 街道まつり

日時：5月17日（日） 10時～16時
場所：はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ 大ホール
入場無料

鷺舞神事 11:00～
香川裕光コンサート 15:00～
共催：津和野街道交流協議会
津和野街道交流400年記念実行委員会

※今後の状況により、変更の可能性があります。

廿日市市混声合唱団 風薫るはつかいちさわやかコンサート

日時：5月24日（日） 13:00開場 13:30開演
場所：はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ 大ホール
入場無料

指揮 佐伯 康則
ピアノ 植田 志乃
主催：廿日市市混声合唱団

ネットワーク現在の状況

（令和2年3月末現在）

登録団体 **153** 団体

お問い合わせ先 廿日市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

一市民活動情報紙一

さくら de ファミリー

廿日市市民活動センター
令和2年春号
Vol. 51

登録団体代表者研修会の報告

2月1日、登録団体代表者研修会を行いました。専法寺副住職 梵大英氏による「活気ある元気なまちづくり」～ボランティア貢献について という演題に沿って講演いただきました。

梵さんは、行政主体ではなく、住民主体となって地域活性化を進めていこうと、三次商工会青年部で活動されています。地元三次さんさい祭りでのイベント、カープ選手とのコラボTシャツ、三次唐焼など、観光客が増えるようアイデアをどんどん発信しています。『子どもたちが故郷を誇れるようなまち』にすることを、まちづくりの目標に掲げて活動していくことが、大人の使命だと考えておられるそうです。また、若い世代にまちづくりを任せきりにするのではなく、年長者の方々と上手くコラボレーションできる関係性を残しておくことも必要だと話されました。

来年の代表者研修会もみなさまのご参加をお待ちしております。



梵 大英 氏



令和2年度提案型連携事業の募集

★連携事業実施の目的

市民活動センターに集う登録団体同士が連携し事業や活動を通して、お互いに支え合うことで他の団体に興味を持ち、理解することによりそれぞれの得意分野を活かした、よりよい活動が展開されることを目的として実施します。

募集期間：4月1日（水）～5月29日（金）

応募方法：事業提案書を作成し、市民活動センター受付に提出（提案書は受付にあります）

審査・選考：6月11日（木）18時～ 運営協議会にてプレゼンテーション
場所/市民活動センター 1階会議室

★その他詳しい内容につきましては、配布した応募の手引き、またはホームページをご覧ください。お問い合わせは、センター受付まで

新型コロナウイルス感染症対策に ご協力いただきありがとうございます

この度は、不要不急の集会自粛にともない、当センター施設ご利用の延期・中止などにご協力をいただき、ありがとうございます。

利用者のみなさまにはご不便をおかけいたしますが、今しばらくご協力ください。

提案型連携事業の報告

事業名：花見山入口の不法投棄対策など
事業期間：2019年6月～2020年2月
参加人数：子供99人 大人54人
活動内容：山の入口環境整備と「かけっこスクール」

主催：青少年夢プラン実行委員会
連携：廿日市市公衆衛生推進協議会

子どもたちと一緒に山の木を切って広場を作り、山遊びと山仕事をする活動をしています。子どもたちと一緒に山の入口の不法投棄ゴミを処理し、草刈りやフェンスの設置、花植えなど環境を整備しました。

整備したフィールドを生かし、山の中を無理なく心地よく走ることでカラダ作りをする「かけっこスクール」を開始しています。



不法投棄されたがれき



柵を取り付けました

防犯カメラを設置しました！

当センターに、防犯カメラを設置しました。

地域の皆様にもますます安心してご利用いただけますよう、廿日市市協働推進課、廿日市市民活動センター運営協議会事務局ともに心がけてまいります。

なお、防犯カメラは、北口玄関、南口玄関の2か所に設置しております。



GW 休館日

4/29(水)・
5/3(日)～5/6(水)
ご利用の際はご注意ください





今回は登録団体に新しく加入された4団体をご紹介します。

ウォーキングリーダー会

ウォーキングを通じた健康づくりを広めていきます！

ウォーキングリーダー会とは、ウォーキングを通じた健康づくりに関心があり、地域にウォーキングを普及するための活動に取り組んでいるボランティアからなる団体です。

各地域の交流ウォーキングや、「ハツラツ！市民ウォーキング大会」の準備・運営をしています。ウォーキングリーダーになるためには、養成講座を受講し修了する必要があります。令和2年度第6期「ウォーキングリーダー養成講座」は今年秋ごろ実施予定です。市の広報誌やホームページなどで詳細をお知らせいたします。この講座では、正しいウォーキングフォームやコース選びなどを学んでいきます。ウォーキングリーダーとして、自分やあなたの近くの方の健康づくりのために一緒に活動してみませんか。



お問い合わせ
廿日市市健康推進課
☎0829 (20) 1610



チームはつかいち

チームはつかいちが平成24年開催した『まちづくり交流会』をきっかけに、“まちづくりを考える、だれもが参加しやすい場をつくること”を目的として結成されました。

「まちづくり」という言葉には、いろいろな意味がこめられていますが、暮らしが楽しくなる、困ったことが少しでも良くなる、人と人が出逢い新しい何かが生み出されるといったイメージを私たちは持っています。

市の担当課と協働で講座を開いたり、他団体のイベントにハンドドリップコーヒーを提供するカフェコーナーでの参加をしたり。令和元年度からは、チームはつかいち手帳部がスタートし、『はつかいち手帳』の作成の取り組みも始めました。

廿日市のまちで生活している私たちが、暮らしを楽しみ感じられること、喜びや悩みをみんなで共有し、一緒に解決していけることを目指して活動しています。



情報発信は『チームはつかいちFB』がメインで、ときどきブログの更新もしています。

連絡先 チームはつかいち
(代表) ☎0829-58-8249



くじまホテルの会

廿日市市北東の旧佐伯町玖島地区を流れる玖島川の清掃・環境の保全を活動とする会です。

昭和の時代、川は子供たちの格好の遊び場でした。夏休みともなれば、遊泳場のカンカン照りの陽射しの下で、毎日飽きることなく遊び過ごしました。近年、そんな思い出の川が荒れ、心が痛みます。

もちろん、地元の自治会や住民の献身的な作業で景観が保全されている河川もありますが、多くが中山間地域である上中流地域のマンパワー不足は深刻です。人の手が入らない河原には葎が繁茂し砂州が広がり、あちこちで流路が狭まっています。河岸に根を張った灌木の枝や葎の間には、ビニール・発泡スチロール類のごみや空き缶・瓶も目につきます。

美観上の問題よりも緊急かつ切実なのは、増水時の氾濫です。昨今の集中豪雨の多発を考えれば、杞憂とは思えません。さらに、下流地域の上水道水の水源であることにも思い至ります。

そんな状況を憂いた幼なじみや知人が集まり、会がスタートしました。作業は葎を刈り小灌木を伐り、ゴミや瓶・缶を拾うという単純なものです。キツイ作業もありますが、作業の後の汗ばんだ身体に川面を吹く風は心地よく、達成感も味わえます。

会の名称にはホテルが乱舞する玖島川を取り戻したいとの願いがこめられています。また、命名者の会員によれば、人知れずほのかに闇を照らすホテルの光のように地道に、そして点と減をくり返すホテルに倣いゆくりと休み休み息の長い活動にとの思いも。



廿日市市バウンドテニス協会

廿日市市バウンドテニス協会は1983年に大野町教育委員会主催でバウンドテニス教室が開催され、つぎつぎと自主クラブが誕生。1988年4月に前身の「大野町バウンドテニス協会」が設立されました。平成17年11月3日平成の大合併により、協会名も大野町から廿日市市へと改名。今年度2020年で32周年を迎える競技団体です。現在大人11クラブ、ジュニア1クラブが活動しています。会員数は90名を超える協会となりました。

特色は「いつでも、どこでも、だれでもできる生涯スポーツ」をスローガンに、新大野体育館完成までは、活動拠点を大野西市民センター、大野東小学校として、生涯スポーツであるバウンドテニスを日々楽しく、体力向上と技術力向上のため練習をしています。毎年、初心者教室を開催し、会員増加に努めるとともに、ジュニアの育成・普及活動に力を入れています。

会員の中には、県大会や全国大会に参加して、優勝や上位入賞するなど好成績を挙げており、今後の活躍も期待できます。

2017年3月に日本体育協会理事会において、国民体育大会公開競技種目にバウンドテニスを選定され、2023年佐賀国体から実施されます。

バウンドテニスをやってみたいと感じたあなた、一緒に楽しみましょう！！



お問い合わせ
廿日市バウンドテニス協会
担当 谷口 幸子
☎080-1909-2624

